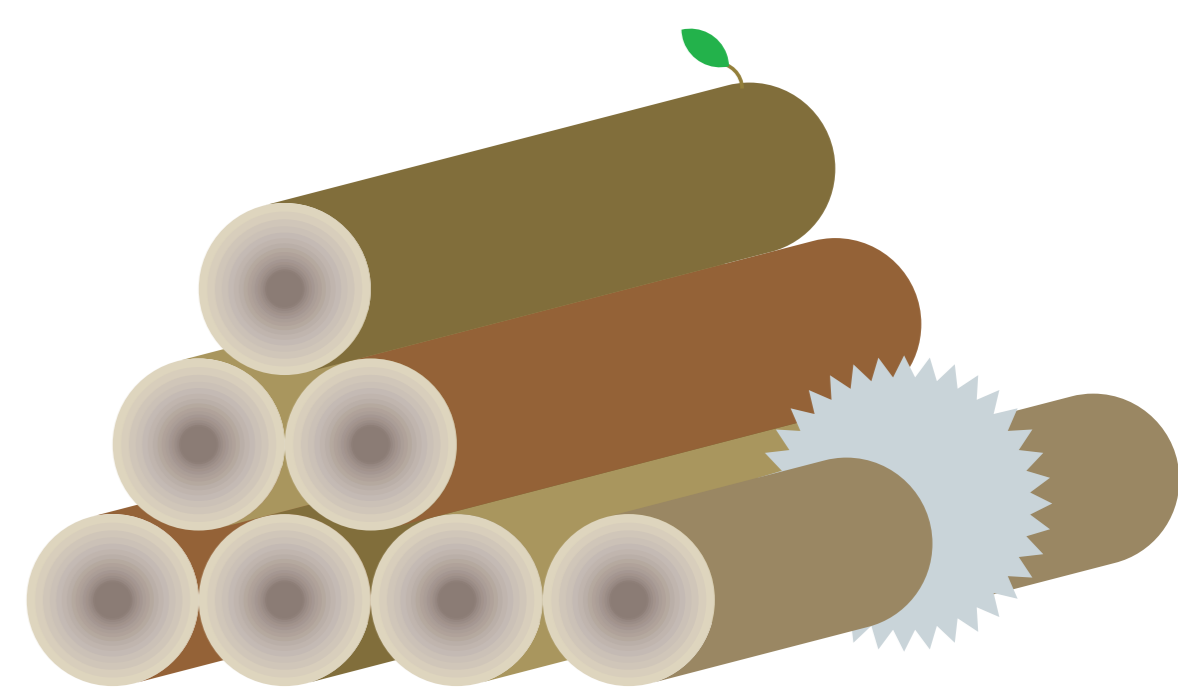


森からいのちが始まります。

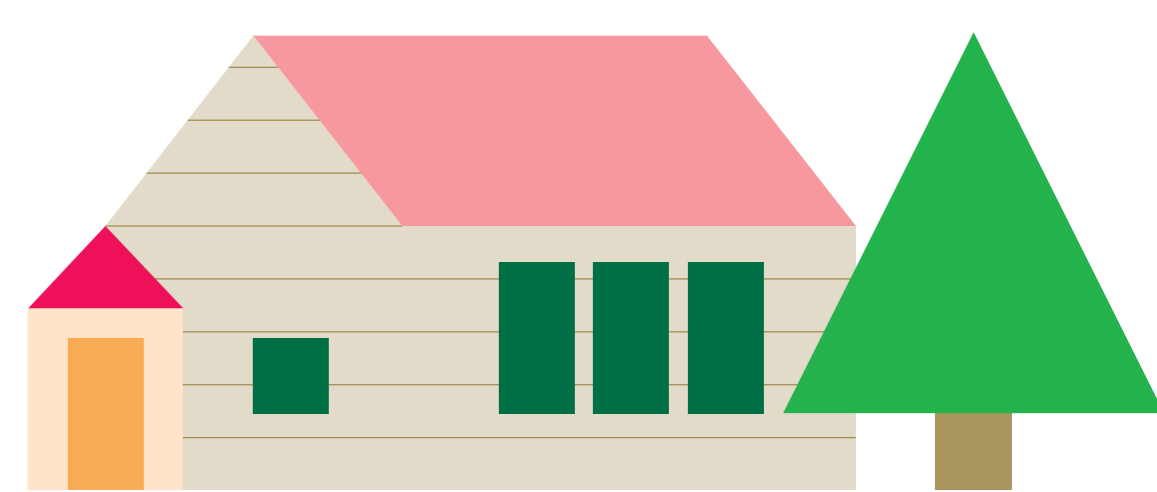
森の木々は光合成により、二酸化炭素を吸収し、酸素を放出します。落ち葉は微生物の営みにより上質の腐葉土となります。草や木は昆虫たちのえさとなり、小動物や鳥もえさを求めて森に集まります。土と木がしっかりと調和すれば、森は豊かな保水力をもち、天然のダムとなります。土砂崩れも防ぎます。大地に蓄えられた雨は、やがて小さな流れとなり、遙か海までさまざまないのちを育んでゆきます。山から始まるいのちの循環の中に、私たちは生きています。



【製材・加工する】

認証木材を分別し、住宅材や木製品にします。

地域の認証木材をちゃんと分別製材し、住宅部材をつくります。間伐材や、端材も、みんな大事に活かします。木は、山で切り出してから製品になるまで、製造過程でのエネルギー消費量とCO2の排出量が少なく、リサイクルもしやすいとても優れた材料です。近くの山の木を利用すれば輸送コストも、輸送車の使うエネルギーも排ガスも、少なくてすみます。



【製品化する】

設計する人も、建てる人も、「緑の循環」認証の仲間です。

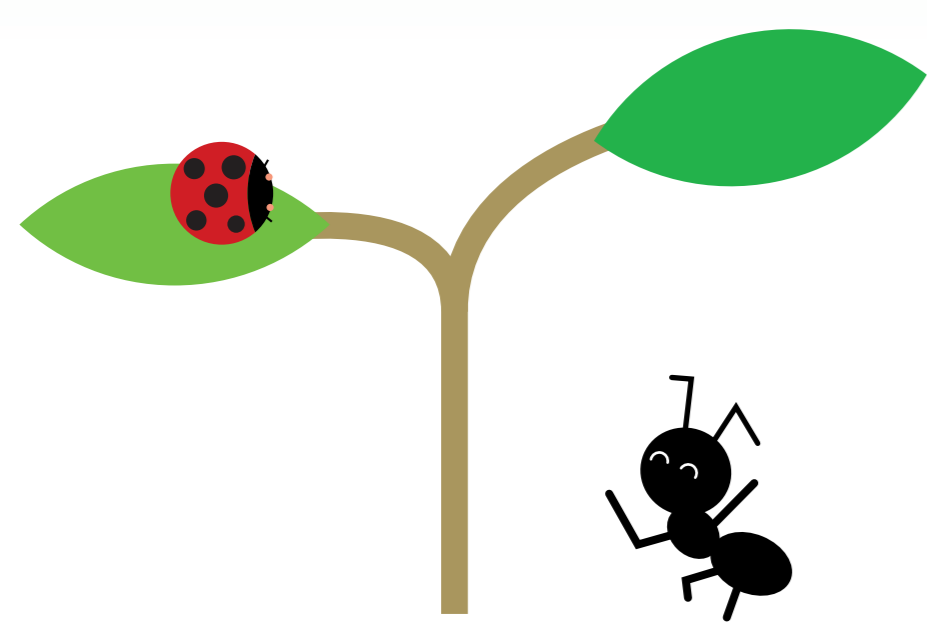
木のやさしさ、強さをよく勉強した設計士や大工さんもネットワークの仲間です。山への思いを共有し、「緑の循環」認証材を使って、風土に美しく溶け込み、地域の文化を継承できる、そんな家をつくりたい。間伐材や端材もみんな無駄にはしません。ぬくもりいっぱいの家具や小物、りっぱな薪にもなります。

山と川と暮らしを結び 「緑の循環」

吉野川ネットワーク

山からあなたへ、
あなたから地球へ。

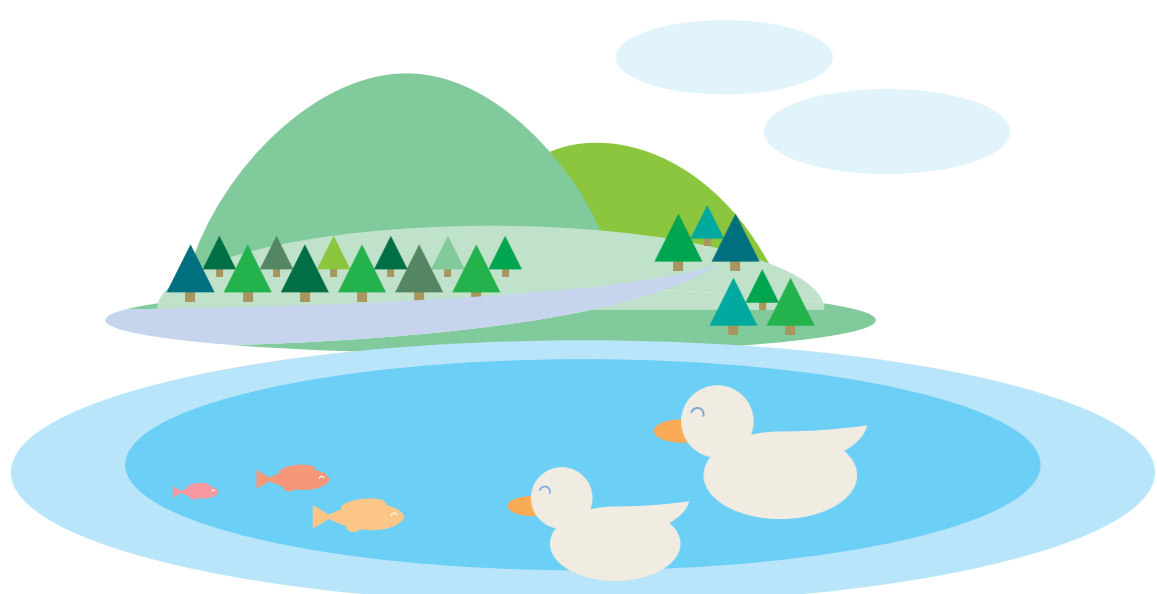
地域の山を大事に育て、地域の山に育つ木で家を建てましょう。私たちにできる、とても簡単で、とびきりステキな環境への貢献です。山が元気なら川も元気、私たちが暮らしも心地よい。地域の山を生き生きと蘇らせ、山と川と暮らしを結びます。「緑の循環」吉野川ネットワーク。



【山を管理する・木を伐り出す】

ふるさとの山を守り、
たくましい木を育てます。

きっちりと間伐しながら丁寧に育成管理した森には、土地の気候にあった素直で強い木が育ちます。長年地域の気候に耐えて生育してきた木は、その地の気温、湿度、雨、風などの自然条件への耐久性を備え、家づくりにいちばん適した材です。ふるさとの山に育つ木で、安心して住み続けられる家を建てましょう。育林にも、伐採にも、まごころを込めて山から木を送り出します。



【木と暮らす】

あなたもこの輪の
仲間になりませんか。

山や川や海、身近な自然へのまなざしがほしいのです。木を使えば、山がほっとします。山が生き生き機能すれば、川も海も元気になります。山では私たちが清々しさを満たされます。いのちの始まりの山へ、さあ、出かけましょう。山の空気を胸いっぱい吸い込んで、木漏れ陽を浴び、木に触れて、山を楽しみましょう。自然があるがままの姿でいてくれること、それが私たちにとって一番心地よいことなのです。森を育てる人、木を伐り出す人、製材する人。木の家を設計する人、建てる人、そこに住む人。木製品を作る人、使う人。そして山や川を思う人、山に川に遊ぶ人……。みんなをつなぐ大きな輪。この地に暮らす人なら誰もが、この輪の仲間なのです。

